



ナミビア通信

JICA 青年海外協力隊
2023 年度 I 次隊
エロンゴサ小学校
吉野 葵
2025 年 3 月 第 29 号

皆さんこんにちは。ナミビアの小学校で先生をしている吉野です。

先日、私がナミビアに来てから 1 年 8 ヶ月が経過しました。私は、日本での仕事を退職して協力隊に参加したため、任期（協力隊として派遣される期間）は 2 年間ですが、協力隊の間には「現職参加」と言って日本での職場に籍を残した状態で参加し、この 4 月から日本の職場に復帰する人も多くいます。先月、その現職参加の隊員たちが日本へ帰国しました。日本で約 1 年 8 ヶ月ぶりに仲間たちと再会し、それぞれの国での経験や思い出話に花を咲かせていることと思います。私も 7 月に帰国したら、また協力隊の仲間たちと日本で会えると思うととても楽しみです。残り 4 ヶ月も頑張りたいと思います。

「仲間」とたくさん書きましたが、世界中の別々の国に散らばっているにも関わらず、皆が仲間として繋がっている理由は、それぞれの国に派遣される前に日本で実施されていた訓練を共に乗り越えたからです。協力隊の書類審査や面接試験を通過すると、語学や異文化理解、途上国での生活に必要な知識や能力等を身に付けるために、2 ヶ月間、合宿制の訓練に参加することになります。ここでの訓練を乗り越え、語学やその他の知識に関するいくつかの試験を通過し、晴れて協力隊として派遣されることが決定します。今日は、その訓練（「派遣前訓練」と呼ばれる）の様子について紹介しようと思います。

JICA 海外協力隊の派遣前訓練

① 派遣前訓練を実施する「訓練所」

派遣前訓練を実施する場所は「訓練所」と呼ばれる施設です。この施設に約 2 か月間泊まり込みで滞在し、訓練を受けます。訓練所は 2 か所あり、派遣される国や学習する言語によって分けられています。

二本松訓練所 福島県二本松市永田字長坂4-2



駒ヶ根訓練所 長野県駒ヶ根市赤穂15



私は福島県の二本松訓練所で訓練を受けました。私が訓練を受けた際は、アジアやアフリカなどの地域へ派遣される人がこの二本松訓練所で訓練を受けました。大洋州や中南米、一部アフリカなどに派遣される人は長野県の駒ヶ根訓練所で訓練を受けました。（振り分け方は派遣のタイミングによって異なります。）

私が約 2 か月間生活した部屋です。トイレや風呂は共用で、食事は食堂で食べます。

②訓練の内容

平日は毎日のように語学の授業がありますが、その他にも様々な講座があります。



↑ 語学訓練



↑ 身の安全を守るための講座



↑ 協力隊の基礎や
健康/安全に関する講座



↑ 異文化理解のための講座

急に日本と環境の異なる地に住むと、日本に住んでいた時には経験したことのないような心や体の異常が起こることがあります。また、日本では聞いたことのないような事故や事件、感染症などの危険もあります。こうした事例や、それらに対する対処法などを派遣前に学んでおくことは、自分の身を守る上でとても大切なことだと感じました。

③訓練中の私の1日の流れ

7:10~	朝食	13:00~	語学訓練
8:10~	朝の集い 	15:00~	各種講座 現地での生活、安全や健康などに関する講座、派遣の手続きなどをします。
		17:00~	ランニング・入浴
		18:00~	夕食
8:45~	語学訓練  それぞれの派遣国で使う言語を学びます。ナミビアは英語が公用語なので私は英語を勉強していましたが、他にもたくさんの言語のクラスがありました。	19:00~	語学自習・自主講座など  自主講座とは、訓練生が自主的に開く講座です。私は基本的に毎日教室にこもって自習をしていましたが、時々だれかが開く自主講座にも参加しました。
12:00~	昼食	23:00	消灯

(参考・引用(写真含む): [派遣前訓練ってなに? | JICA 海外協力隊](#))